

※自校の実情に応じて作成し、各学級に掲示すること。
※新たな対応が必要になった場合は、内容を更新すること。

時間と心にゆとりを！！

- 3つの密を避ける。
換気の悪い 「密閉空間」 多数が集まる 「密集場所」 間近で会話や発声をする 「密接場面」
- 大声を出さないようにする。

朝、家を出る前

- 体温をはかる。発熱・かぜの症状がある場合は、登校しない。
- マスクを着用または持参する。他の人と十分に距離をとれないときは、マスクを着用する。

家を出る・学校に着く

- 周囲2メートル以内に人がいない場合や、暑くて息苦しい場合は、マスクを外す。
- 自転車通学の生徒はマスクを外す。
- 登校するときは、前後を歩く人との間を1～2メートルあけて歩く。友だち同士で交通安全を確認する。
- たくさんの人が集まっている場所には、近づかない。
- 学校に着いたら手を洗う。
- 登校前に家で体温をはかってくるのを忘れたときは、教室に行く前に職員室や保健室で体温をはかる。

暑い日は熱中症対策を優先する。

- 児童生徒を時間差登校させたり、校舎への出入口を複数箇所用意したりして校門や昇降口での密集を避ける。

破線の枠内は、教職員が配慮する事項

授業中

- 風が強くなければ、教室の窓を全部あけ、風が流れるようにする。
教室の窓を全部あけることができないときは、教室の四すみの窓を開け、扇風機を使うなどして、風が流れるようにする。
- 自分の席と友だちの席との間は、1～2メートルあける。
- 友だちや先生と話すときは、大きな声を出さないようにする。
- 器具・用具など共用する物を使用するときは、使用前後に手洗いを行う。
- 体調が悪いときは、すぐに先生に申し出る。

- 児童生徒ができるだけ向かい合わないような形で教育活動を行う。
- 面積の広い特別教室を使ったり、隣の教室を同時に使ったりして、密集を減らす。
- 小学校低学年に対しては、1～2メートルの間隔を実感できるような指導を行う。
- 学年や学級ごとに分散登校させ、午前・午後に授業を振り分けるなど、過度に密な状況を作らない。
- 大きな声を出すような活動は先送りする。
- 体調の悪い児童生徒は、保健室等で体温を測り、体温や体調の具合に応じて、保健室での静養後、保護者の迎えにより帰宅させる。行動履歴や一緒に行動していた友だちを確認する。

休み時間

- 教室の窓を全部あけて、教室の空気を入れ換える。
- 人がたくさんさわる場所をさわらない。さわった後は手を洗うことを習慣にする。
- 手洗い場やトイレで並ぶときは、友だちとの間を1～2メートルあける。
- 運動場で遊んだり、教室や図書館ですごしたりするときは、友だちと密にならないようにする。
- 休み時間が終わり、教室に戻る前に、しっかりと手洗いする。

- ・特別活動などを通じて、屋外で密集せずに遊ぶ方法（縄跳びや散歩など）や屋内での過ごし方（読書、折り紙、パズルなど）を児童生徒と一緒に考える。児童生徒自ら学級のルールを決めて実行するなど、児童生徒の主体性や創意工夫を引き出し、参画意識を高める。
- ・休み時間などに密になっていないかどうかを、教職員が輪番制で見届ける。

給食の時間

- 授業が終わったら、手を洗い、給食に関係する仕事以外の場面では、自分の席に座って声を出さないで静かに待つ。
- 給食当番は、食缶などを受け取りに行く前・配膳する前に手洗いや消毒をする。
- 給食当番が配ぜんしなくてよい物（牛乳やふりかけなど）は、自分で取りに行く。
- 給食を配ぜんしてもらうときは、少人数で取りに行く。配ぜんで並ぶときは、友だちとの間を1メートル程度あける。

- ・給食の配ぜんに不安を持つ児童生徒の保護者に弁当持参を依頼する。
- ・食事前に、食べる量の調整は行わない。（食べ残しは、食後に食缶に戻す。）

そうじ・ごみ処理

- 多くの人がかざるところ（ドアノブ、手すり、スイッチなど）を、消毒液または家庭用洗剤等で拭き掃除する。
- 清掃道具など共用する物を使用するときは、使用前後に手洗いをする。
- 鼻をかんだり、つばき（だ液）がついたりしたティッシュペーパーなどのごみを捨てるためのビニール袋を家から持ってくる。
- ティッシュペーパーなどのごみが入ったビニール袋を捨てるときは、ビニール袋の口をしぼって、教室のごみ箱などに捨てる。
- 教室などのごみ袋を回収するときは、ビニール手袋をつけるか先生にやってもらう。
- そうじが終わったら、手を洗う。

- ・教室のごみ箱には、ふたをつける。

学校を出る・家に着く

- 周囲2メートル以内に人がいない場合や、暑くて息苦しい場合は、マスクを外す。
- 自転車通学の生徒はマスクを外す。
- 家に帰るときは、前後を歩く人との間を1～2メートルあけて歩く。友だち同士で交通安全を確認する。
- 家に着いたら、すぐに手と顔を洗う。シャワーをあびたり、お風呂に入ったりできるならば、体を洗う。
- バランスの取れた食事をとったり、夜しっかりと寝たりして、からだを病気から守るしくみ（免疫力）を強くする。

暑い日は熱中症対策を優先する。